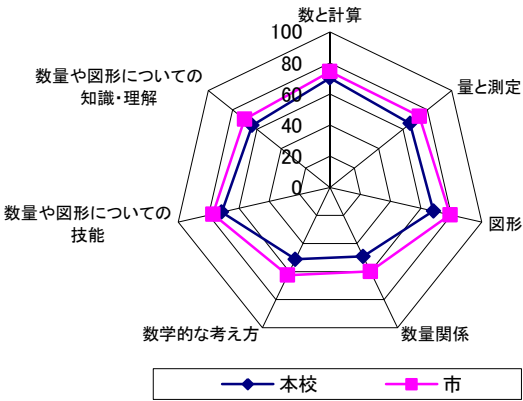


宇都宮市立上河内東小学校 第4学年【算数】領域別／観点別正答率

★本年度の市と本校の状況

		本年度	
		本校	市
領域別	数と計算	70.3	74.5
	量と測定	65.9	73.5
	図形	68.2	79.2
	数量関係	49.2	59.9
観点別	数学的な考え方	51.3	62.5
	数量や図形についての技能	71.3	77.1
	数量や図形についての知識・理解	63.9	70.2



★指導の工夫と改善

領域	本年度の状況	今後の指導の重点
数と計算	- 平均正答率は、市の平均を下回っている。 - かけ算とわり算については、文章問題を図を使って求めることができていなかった。 - 分数と小数については、位の異なる小数のひき算に誤りが見られた。また、小数のしくみや相対的な大きさが十分理解できなかった。 - 概数については、概数の表し方や概数が表す範囲に間違いが多かった。	- かけ算とわり算については、位をそろえて筆算で計算できるように練習するとともに、文章問題を通して図や数直線を活用して立式する考え方を重点的に指導したい。 - 分数と小数については、具体物や数直線、図など視覚的に捉えやすいものを利用して、分数や小数のしくみを十分理解させたい。 - 概数については、条件に合わせた表し方や範囲の表し方を繰り返し練習をして定着を図っていきたい。
量と測定	- 平均正答率は、市の平均を下回っている。 - 角については、分度器の読み取りはおおむねできていたが、角の性質や角の大きさの見当にやや誤りが見られた。 - 面積については、長方形の面積を求めたり、複合図形の面積を求める式を立てたりすることができていなかった。	- 角については、角の大きさの見当を付けてから、実際に分度器を使って図のようにするとともに、角の性質については、具体的な操作活動を通して導き出したり、角の性質を利用した問題に数多く触れるようにする。 - 面積については、もとなる単位のいくつ分になるか実際に確かめながら公式を導き出して理解を深めるとともに、複合図形で面積を求める際に、図に表して順序立てて式を立てられるようにしたい。
図形	- 平均正答率は、市の平均を大きく下回っている。 - 円と球については、円の直径を答えたり、球を並べた長さを求めたりすることができていなかった。 - 三角形については、二等辺三角形を作図する問題で間違いが見られた。	- 円と球では、半径と直径の区別を十分意識させながら、球の場合にも、平面図を利用して考えられるように様々な問題に応用できるようにしていきたい。 - 三角形については、二等辺三角形の性質を使って作図していくことを十分理解させるようにしたい。
数量関係	- 折れ線グラフでは、傾きから変わり方を読み取ることができていなかった。 - 表については、二次元表を読み取り、縦と横の分類項目を見て、対象のマスがどのような意味をもっているか十分つかめなかった。また、二次元表を利用して問題を解くことができなかった。	- 折れ線グラフについては、デジタル教科書などを活用して、読み方を確実に理解させるとともに、グラフから読み取れることを文章化して、グラフの見方や考え方を伸ばしたい。 - 表については、資料を整理して二次元表にまとめていく学習に十分時間を確保して、表の見方を理解させたり、二次元表からわかることを適切につかませるようにしたい。